

④ 圧力調整器のトラブル・シューティング

I 一般工業ガス用
圧力調整器

II 分析用標準ガス・
理科実験用
圧力調整器

III 半導体用特殊材料ガス・
高純度・超高純度
キャリアガス用圧力調整器

IV 一般工業ガス
供給設備・機器

V 分析用標準ガス
供給設備・機器

VI 半導体用特殊材料ガス
高純度・超高純度
キャリアガス供給設備・機器

VII 大臣認定について

VIII 高圧ガス法

IX 参考資料

トラブル状況	チェック	要因	処置方法
容器に調整器が取付かない	・取付けネジの形状・サイズ及び容器弁ネジの形状・サイズのチェックをする	・取付けネジと容器弁ネジが違う ・左ネジ、右ネジの間違い ・ネジサイズの間違い ・容器弁ネジが変形している	・容器弁ネジにあった口金の調整器を用意して下さい ・容器を交換する
容器との接続部からガス漏れがする	・ネジのゆるみ、パッキンの劣化、取付けネジのキズをチェックする	・パッキンが取付いていない ・パッキンが割れている ・パッキンがつぶれている ・調整器取付け金具にキズがある ・容器のあたり部にキズがある	・パッキンを新品と交換する ・ゆるみのないように調整器を取付ける ・弊社へ修理依頼もしくは、古い場合は、調整器の取替え ・容器を交換する
圧力調整ハンドルが動かない		・ハンドルネジがカバーネジに焼きついている ・ハンドルが目一杯にねじ込まれている	・弊社へ修理依頼もしくは、古い場合は、調整器の取替えをして下さい
圧力調整が出来ない		・バルブがシートに固着している ・調整スプリングが破損している ・スプリング押えが破損している	・弊社へ修理依頼もしくは、古い場合は、調整器の取替えをして下さい
調整圧力が異常上昇する	・2次側圧力計のチェック (出口を閉じた時、ハンドルにさわっていないのに、二次側圧力計の指針が上がっていく(出流れ))	・バルブに異物が付着し、シールできない	・直ちに使用をやめ、内部のガスを抜いて下さい。 ・弊社へ修理依頼もしくは、古い場合は、調整器の取替えをして下さい
		・調整ハンドルを目一杯にねじ込んでいる ・バルブがシートに固着している ・バルブ押しがシートに固着している ・バルブスプリングが破損している ・受圧板がカバーに固着している ・ダイヤフラムが破れている	
調整器が振動及び異音を発生する(バイブレーション)	・調整器の下流側のバルブを急激に開いてないか、チェック		・容器弁は、ゆっくり開くようにして下さい
	・ガスの放出量が、仕様流量より多くないか、チェック		・調整器の能力以内で使用するようにして下さい
	・ヘリウム、水素に関しては、専用の調整器を使用しているか、チェック	・専用の調整器を使用していない	・専用の調整器に交換する
	* その他、前頁をご参照下さい		
ガスが出ない、もしくは、少量しか出ない	・上流側、容器弁のチェック ・元圧力のチェック ・調整器入口ストレーナのチェック	・容器弁が、閉じているか、半開き	・容器弁を完全に開く
		・容器が空ビンである ・入口ストレーナの目詰まり ・バルブのリフトが無い ・バルブ押しのリフトが無い	・容器を空ビンと交換する ・ストレーナの交換をする ・部品交換
圧力計の指針が“0”にもどらない	・配管上の圧力計があれば、比較チェック ・圧力計の外観チェック	・調整器の落下で指針がずれた ・圧力計ブルドン管が変形した ・全体が破損した ・圧力の異常上昇で、ブルドン管が変形した	・圧力計の故障が明らかであれば、校正に出して下さい ・圧力計を交換して下さい
ガスを流すと1次側圧力と2次側圧力が著しく低下する	・上流側で流量が絞られていないかチェック(容器弁の開度が少ない。配管が細い等)		・容器弁を全開にして下さい ・配管を流量に合ったものにして下さい
	・上流側のガス供給量は充分かチェック		・供給不足の場合、容器本数をふやし、供給量を多くする
	・調整器入口フィルター、及び上流側のフィルターの目詰まりのチェック		・フィルターの目詰まりの場合掃除、及びフィルターの交換を行って下さい
ガスを流すと下流側の圧力のみが、著しく低下する	・調整器の下流側で流路が絞られていないか、チェック(容器弁の開度が少ない。配管が細い等)		・容器弁を全開にして下さい ・配管を流量に合ったものにして下さい
	・調整器の流量能力チェック	・調整器の流量能力不足	・流量に見合った調整器に交換して下さい